

A スピーカー音量ノブ

背面のスピーカーからフロア音声を出します
(メニュー操作により言語を変更することも可能です)

B ホイールキー/ホームボタン・戻るボタン

・リレー1-6言語/通訳先B/C言語の変更
・同通卓の各種設定 (次ページ参照)

C ディスプレイ

リレー言語/通訳先言語のステータスを表示します (次ページ参照)
一定時間の無操作でスクリーンセーバーが機能します



* リレー言語(1-6)、通訳先言語(B/C)の変更手順:

1. MICROPHONEボタンをオフにします。
2. 言語をセットするボタン (1-6、B/C) を押しながらホイールキーを回すと言語のリストが現れます。
3. ホイールキーでリストから言語を選択し、ボタンを離してセットする言語を確定します。



1 ヘッドホンノブ

ヘッドホン出力の音量を調節します。

Bass / TREBLEノブ

ヘッドホン出力の音質を調節します。

- ・Bassノブ: 低音域
- ・Trebleノブ: 高音域

2 リレーボタン(1-6) / FLOORボタン

モニターチャンネルを選択します。
選択中**白点灯**します。
リレー1-6にセットする言語は変更可能です。

3 MICROPHONEボタン

本体マイクをオンオフします。
オンのとき**赤点灯**します。

4 通訳先言語ボタン (A-C)

通訳先言語をA/B/Cから選択します。マイクがオフのとき**白点灯**、オンのとき**赤点灯**します。
A言語は固定、B/Cにセットする言語は変更可能です。

5 MUTEボタン

咳払いの際、押している間だけマイクをミュートします。ミュート中は**白点灯**します。

6 REPLAYボタン

将来対応予定

SLOWボタン
次ページ参照

BEEP(🎵)ボタン
次ページ参照

ディスプレイ上部ステータス表示



BEEPが有効：
本体のBEEP（🎵）ボタンを長押しすると有効に、再度長押しすると無効になります。
BEEPが有効のとき、操作卓音声のオンオフやメッセージ受信時にピープ音で知らせます



グースネックマイクが有効



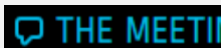
ヘッドセットマイクが有効：ドット位置はヘッドセットが接続されているジャック（左/右/背面）を示します

* 注意 *

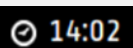
ヘッドセットマイク入力があるとき、グースネックマイクは強制的に無効になります



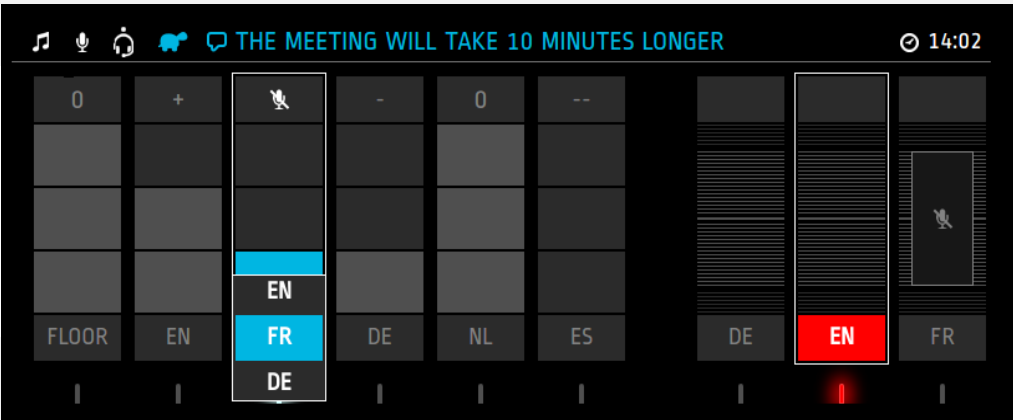
SLOWメッセージ送信中：
Slowdown機能が有効の場合、本体のSLOWボタンを押すとスローダウンメッセージを送信します。



メッセージを受信中



時刻表示



リレー言語ステータス表示



モニター言語はフロア音声



モニター言語は通訳者1名によって通訳されています



モニター言語は通訳者2名/3名によってリレー通訳されています



モニター言語と通訳先言語が同じ

通訳先言語ステータス表示



同ブースの通訳者が通訳中



別ブースにて通訳中
(図:英語ブース)



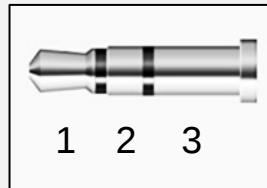
通訳者がミュート中

*ヘッドセットマイク優先機能に関して

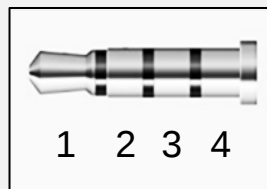
グースネックマイクを使用して通訳を行う場合、操作卓に接続するヘッドホンには必ず3極端子のものを使用してください。

マイク機能を有する市販の4極端子のヘッドホン・イヤホン等を接続すると、接続した時点で強制的にグースネックマイクが無効になります。
(国際規格 ISO 20109:2016 準拠動作)

このとき接続したヘッドセット・イヤホンのマイクが有効になりますが、通訳先音声の音量が小さくなる場合があります。

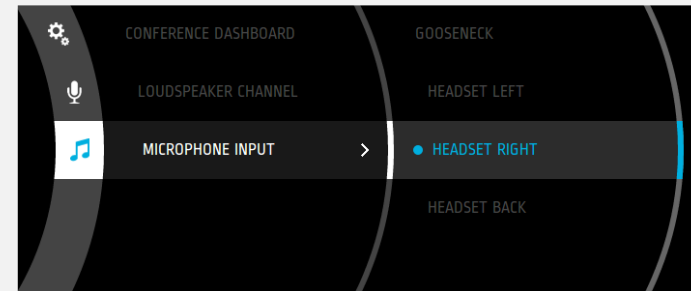


3極端子 (TRS)



4極端子 (TRRS)

- ・マイクの切替時、ディスプレイにポップアップ通知が現れます (英文)
- ・4極ヘッドセット・イヤホンを操作卓から取り外すと自動的にグースネックマイクが有効になります。



*一時的に、手動で操作卓マイクを選択する手順：

1. ホイールキーを押すと操作卓設定画面に移動します。
2. MICROPHONE INPUT を選択してホイールキーを押します。
3. 使用するマイクを以下から選択します。
 - ・ GOOSENECK (グースネックマイク)
 - ・ HEADSET LEFT (左側ヘッドセット端子)
 - ・ HEADSET RIGHT (右側ヘッドセット端子)
 - ・ HEADSET BACK (背面ヘッドセット端子)
4. ホームボタンを押して初期画面に戻ります。